

# 戦争法案ノ一声上げ続ける

## 激しい雨音かき消す唱和

### 国会前

17日、戦争法案を許さない国会正門前の行動は、前夜からの雨に見舞われながら終日続きました。参加者はすぶぬれになりながら、たたかい続ける決意をコールに込め、立ち続けました。



「戦争法案の強行採決するな」と抗議行動する人たちは17日、国会正門前

戦争法案に反対する

各大学の有志の会は、全国で1000を超えています。午前の時半、ステージのすぐそばに「武蔵野美術大学有志の会」ののぼりがたちました。映像学科非常

勤講師の新谷尚之さん

(82)は「学生を戦場に送りたくはない」というのはもちろんです。学生たちもどこか来て、物をいっけり出す者として社会の最先端で起きていることを見てほし

い。だから行動しているんです」。

#### 教員の責任と

ステージをはさんで反対側には「桜美林大学有志の会」ののぼりが。リベラルアーツ学部教授の清水竹人さん(57)は「教員だからこそ、この場にいる」といいます。「田中から学生に『正しいことをしっかり判断できる人になれ』と言っている教員の責任として声をあげます。このままではすまさない」

東京都文京区の大籠妙子さん(68)は7月末「何か音が出る物を」と100円ショップで片手なべを購入。スプーンでたたきつけて原形をとめないなべを、さびに塗った。いて「安倍はやめる」とコール。「日本は一

気に国際的な信頼を失って、アメリカと一緒に弱くなる。自分たちの頭で考える子どもを育てたい。そのためにもここに立ちます」

「自衛隊出すな」のプラカードを胸に抗議していたのは、さいたま市の川北夕子さん

の参加に続き、2日続けて国会前に足を運びました。「私が一番大事だと思うのは、幸福追求権を定めた憲法13条。誰でも幸せになる権利がある。それなのに福島原発事故への対応も戦争法案もまったく逆。絶対ダメ」

#### 負けられない

プラカードを振り袋で雨から守りながら「安倍政権は今すぐやめろ」とコールする横浜市の山田佳江さん(72)。「安倍首相が言った戦争法案の必要性の根拠まで成り立たなくなっているのに、本当に許せない。でも負けたくない。若い人たちががんばっているから、私も声上げ続けなきゃ」

(88)。「わなわな戦争を拾いにいくようなものを、その一歩を踏み出さないと、負けるわけじゃないかな」

9/18 5:30